

非常通報装置

# Checkmate1

取扱説明書

(UM-ADP-D 対応版)



製品をお使いになる前に、本書をお読みください

# はじめに（必ずお読み下さい）

この度は、「Checkmate1」（チェックメイトワン）をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。  
本製品は、外部からの入力信号に応じて DoPa（NTT ドコモの packet 通信サービス）を利用して E メールで自動通報する装置です。

本製品は、ご購入直後の状態ではそのまま使用することができません。本製品サイトより設定用ソフトウェアをダウンロードしていただきパソコンにインストールし、設定を行う必要があります。設定後は本書の説明にしたがって動作確認をしてからお使いください。

本書では、「Checkmate1」を「本製品」または「本体」と記述しているところがあります。

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。  
この説明書はお読みになった後も、本製品のそばなどいつも手元においてお使いください。

## 本製品バージョンの確認や最新情報

本製品のバージョンは CPU のラベル、または、設定ソフトで確認下さい。

本製品のバージョンアップ及び特殊仕様のリリース情報は、ホームページでお知らせします。

## 良くある質問の答え

\*修理が終わったときや、本体の CPU を交換した場合など、設定が変わっている場合があります。必ず設定ソフトで設定をやり直してください。

\*モバイルアークは付属していません。九州テン製造の UM-ADP-D をドコモショップまたはドコモの支店でご購入下さい。

\*プロバイダーはモペラを使用しますので、契約の際「moperaPOP メール」を選択してください。

**本製品の最新情報、バージョンアップはインターネットでご確認できます。**

**本製品ホームページ <http://www.adocon.co.jp/>又は<http://www.adocon.jp/>**

\*本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

\*本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

# 特 徴

- **接点入力4点＋センサー用電源**

入力4点に様々なセンサーや機器類を接続できます。また、センサー等の電源供給用としてセンサー用電源を装備しています。

- **電子メール（Eメール）で通報**

電子メールで通報しますので、携帯電話やパソコンで通報を受けられます。

- **10種類以上のメッセージ、それぞれ50文字まで**

入力1～4のON／OFF、全解除、停電、復電、定期的メッセージで通報。それぞれ50文字まで設定可能。設定内容は半永久的に保持。

- **最大30ヵ所までの通報が可能**

最大30ヵ所までの通報先メールアドレスの指定が可能です。

- **商用電源（AC100V）1つで使用できます**

モバイルアークの電源は、本体から供給しますので、モバイルアーク用のACアダプターは必要ありません。

- **停電保証電池を標準添付**

006P型ニッケル水素充電電池を標準添付。保証時間は10分。停電中は3回の通報が可能。

- **停電・復電通報を標準装備**

外部から停電信号を接続したりする必要がありません。設定ソフトにチェックを入れるだけで有効となります。

- **小型で制御盤内への組込が容易**

本体サイズは非常にコンパクトなので制御盤内への取り付けも簡単に行えます。

- **設定用パソコンソフト（Windows 98(SE)、Me、2000、XP用）**

ワープロソフトなどと違い、インストールも設定もとても簡単です。最新の設定ソフトは、弊社本製品サイトからいつでもダウンロードできます。本製品には、通信ケーブルも標準添付しています。

- **入力信号の選択が可能**

入力がONになったときに通報するか、OFFになったときに通報するか入力毎に個別に設定が可能。設定ソフトにチェックを入れるだけで切り替えできます。

- **低価格**

もう通報装置にお金をかける必要はありません。

# 目 次

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| ご使用の前に .....                   | 6  |
| 略称、商標について .....                | 6  |
| 制限事項 .....                     | 6  |
| 安全にお使いいただくために必ずお守りください .....   | 6  |
| 設置場所について .....                 | 7  |
| お願い .....                      | 7  |
| モバイルアーク、モペラについて .....          | 7  |
| パッケージ内容の確認 .....               | 8  |
| 本体外観 .....                     | 9  |
| 呼出の種類と料金 .....                 | 10 |
| 通報の種類 .....                    | 10 |
| 接点入力の変化 .....                  | 10 |
| 停電・復電 .....                    | 10 |
| 全解除 .....                      | 10 |
| 定期通報 .....                     | 10 |
| 標準設定の時 .....                   | 10 |
| 全解除呼出設定 .....                  | 11 |
| 個別解除呼出 .....                   | 11 |
| 停電時発信 .....                    | 12 |
| 1回の通報にかかる時間と料金 .....           | 13 |
| 通報を終了するまでに発生したイベント .....       | 13 |
| リダイヤルについて .....                | 13 |
| 動作設定 .....                     | 14 |
| 設定に使用するパソコン .....              | 14 |
| 設定ソフトのインストール .....             | 15 |
| 設定ソフトウェアの起動 .....              | 17 |
| 通報先の設定 .....                   | 19 |
| アドレスの追加 .....                  | 19 |
| アドレスの編集 .....                  | 20 |
| アドレス削除 .....                   | 20 |
| 全体の設定 .....                    | 21 |
| 送信元の名前 .....                   | 21 |
| 送信元のメールアドレス .....              | 21 |
| 停電や復電時に通報する .....              | 21 |
| 電源 ON 時に 60 秒間、入力信号を無視する ..... | 21 |
| 定期通報する .....                   | 22 |
| 解除通報の方法 .....                  | 22 |
| 入力信号の接点仕様 .....                | 22 |
| 入力信号のチャタリング時間 .....            | 23 |
| モペラの設定 .....                   | 24 |
| 送信メッセージの編集 .....               | 25 |

|                           |           |
|---------------------------|-----------|
| 件名.....                   | 26        |
| 入力信号1～4のON、OFF.....       | 26        |
| 全解除.....                  | 26        |
| 停電・復電.....                | 26        |
| 定期通報.....                 | 26        |
| <b>通信ポートの確認.....</b>      | <b>26</b> |
| 通信ポートを自動的に検出する.....       | 27        |
| 通信ポート指定.....              | 27        |
| <b>本体とパソコンの接続.....</b>    | <b>27</b> |
| <b>設定内容の転送.....</b>       | <b>27</b> |
| <b>本体から設定内容を読み込む.....</b> | <b>29</b> |
| <b>設定内容の保存.....</b>       | <b>30</b> |
| 新規作成.....                 | 31        |
| 設定ファイルを開く.....            | 31        |
| 上書き保存.....                | 31        |
| 名前を付けて保存.....             | 31        |
| 本体から設定を読み込む.....          | 31        |
| 終了.....                   | 31        |
| 以前に編集したファイル.....          | 31        |
| <b>動作確認.....</b>          | <b>32</b> |
| <b>設置方法.....</b>          | <b>34</b> |
| 設置場所を決める.....             | 34        |
| 制御盤などに設置する場合.....         | 34        |
| 接続工事.....                 | 34        |
| 本体側の端末.....               | 34        |
| 入力端子接続.....               | 34        |
| センサー用電源.....              | 34        |
| 信号入力内部回路.....             | 35        |
| ACアダプタの接続.....            | 35        |
| <b>通報の受信.....</b>         | <b>36</b> |
| 受信装置.....                 | 36        |
| 携帯電話を通報先に指定した場合.....      | 36        |
| パソコンで通報を受けた場合.....        | 36        |
| <b>動作モニター.....</b>        | <b>37</b> |
| 表示モニターランプ.....            | 37        |
| 起動時.....                  | 37        |
| 設定ソフトで転送する時.....          | 37        |
| 通報の状態から見たとき.....          | 37        |
| <b>停電保証について.....</b>      | <b>38</b> |
| 内蔵電池.....                 | 38        |
| <b>Q&amp;A.....</b>       | <b>39</b> |
| プロバイダー.....               | 39        |
| 端末.....                   | 39        |

|                        |           |
|------------------------|-----------|
| 通報 .....               | 39        |
| その他.....               | 40        |
| <b>こんなときには .....</b>   | <b>42</b> |
| 設定ソフトウェアのアンインストール..... | 42        |
| 本体を清掃するときは.....        | 43        |
| <b>仕様 .....</b>        | <b>44</b> |
| 「Checkmate1」 本体 .....  | 44        |
| 設定ソフトウェア .....         | 44        |
| インターフェース仕様.....        | 45        |
| 外形図.....               | 46        |
| <b>更新履歴 .....</b>      | <b>47</b> |

# ご使用の前に

## 略称、商標について

記載の会社名または製品名は各社の登録商標です。

## 制限事項

本製品は日本国内での使用を目的に設計されています。国外でのご利用は出来ません。

- 本体と接続可能な端末は九州テン製造の UM-ADP-D を使用してください。
- プロバイダーは「モベラ」を使用します。モバイルアークご購入時には「インターネット接続サービス」を指定してください。パケット契約情報の欄には「開放N I D接続：許容」となっているのを確認してください。

### 本体の操作について

- 本体の電源スイッチを入れる前に九州テン製造の UM-ADP-D の電源を ON にしてください。
- 本体の電源スイッチを入れると 1 5 秒間は黄色のランプが点滅して、初期化を行います。この間は通報できません。
- 電源スイッチを OFF にした直後に ON にすると内部 C P U が正しく起動しないことがあります。電源スイッチを OFF にして、再び ON にする際には OFF の後 3 秒以上待って ON にして下さい。
- 電源プラグを差し込む場合は本体の電源スイッチを OFF にした状態で差し込んでください。
- 設定ソフトで設定を行った後は実際に通報させて受信できるか確認して下さい。
- 入力接点毎に異なる通報先の設定はできません。
- 出荷状態では設定がしてありません。この状態では入力信号が「有り」になっても通報しません。
- UM-ADP-D の通信中ランプが点滅あるいは点灯しているときには本体の電源スイッチを切らないで下さい。故障の原因となります。

### 本体内蔵の充電池について

- 出荷時には完全に充電されておりませんのでご注意ください。商用電源（A C アダプタ）を接続して、72 時間経過すれば満充電となります。

## 安全にお使いいただくために必ずお守りください

本製品は以下の注意事項をよくお読みいただき正しくお使いください。

間違った使い方をされますと、感電、火災や機器の故障が発生するおそれがあります。  
安全にお使いいただくために必ずお守りください。

- ・ 本製品を人命に直接関わる医療機器のような、極めて高い信頼性や安全性を必要とされる設備には接続しないでください。
- ・ 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、生じた損害につきまして、弊社は一切その責任をおい兼ねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本体もしくはそれに接続されている部分から異臭がしたり、過熱や煙が出たりする場合は、ただちにご使用を止め、電源を切り、取り外してお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。

- ・ 本体、及び付属機器を分解・改造しないでください。
- ・ 本体は、屋内での使用を前提に設計されています。屋外でご使用の際には使用条件定格内になるように工夫してご使用ください。
- ・ 本体内部に異物等が入らないようにご注意ください。
- ・ ACアダプタは必ず付属のものをご使用ください。他の製品の流用は絶対にお止め下さい。

## 設置場所について

本体を次のような場所に設置しないでください。動作が不安定になったり、おまわぬ火災や故障の原因になったりする場合があります。

- ・ 急激な温度変化や湿度変化があったり、結露したりするような場所。
- ・ 直射日光が当たる場所。
- ・ 水気、火気のある場所。
- ・ 粉塵等のほこりの多い場所。
- ・ 不安定な場所や振動がある場所。
- ・ 強い磁気や電磁波を発生する機器の近く。
- ・ 腐食性ガスのある場所。
- ・ 気化した薬品や化学反応をおこす様な場所、空気中に塩分が含まれている場所。

## お願い

本体に接続するモバイルアークの設定などは、モバイルアークに付属の説明書をお読みください。  
本体やケーブル等は、小児の手の届かない場所に保管、設置してください。  
長期間にわたって無人で使用する場合は、必ず定期的に保守/点検を行ってください。

## モバイルアーク、モペラについて

- ・ Checkmate1 を使用するにはドコモのポケット通信網、「DoPa」対応の「モバイルアーク」が必要になります。
- ・ モバイルアークの月額利用料金は500円＋ポケット料金です。(変更になることがあります)
- ・ 通報を行うのにプロバイダー「モペラ」の契約が必要です。モバイルアークでの通信は、ダイヤルアップ方式です。

## パッケージ内容の確認

本製品をご使用になる前に、パッケージに以下のものが全て揃っているか確認してください。  
不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。



本体



ACアダプター



通信ケーブル



停電保証充電電池  
(本体に内蔵)



取り付け金具

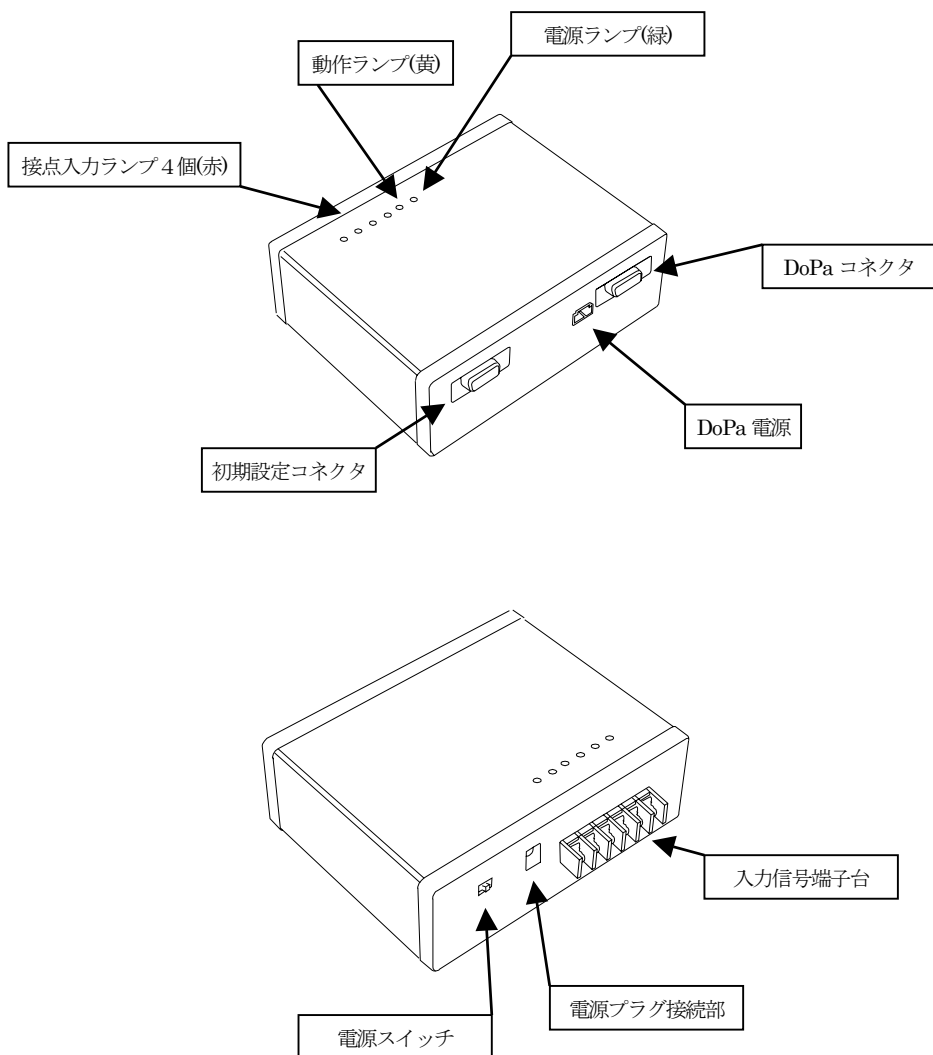


モバイルアーク用  
電源ケーブル

保証書

- \* 上図は、実際のものとは形状、色等が異なる場合がありますのでご了承ください。
- \* モバイルアークは本製品に付属していません。
- \* 取扱説明書、設定用ソフトウェアは本製品には付属していません。  
取扱説明書、設定用ソフトウェアは本製品のページから最新版をダウンロードしてお使い下さい。  
本製品サイト <http://www.adocon.co.jp/>又は<http://www.adocon.jp/>  
取扱説明書（A 5 版）や、設定用ソフトウェア（CD版）を別途購入して頂くことも可能です。  
ご購入の際には販売店、または弊社までお問い合わせ下さい。

## 本体外観



# 呼出の種類と料金

## 通報の種類

通報には「接点入力の変化」と「停電・復電」と「全解除」の3種類があります。

### 接点入力の変化

接点入力がON（短絡）になったら通報します。また、設定で「各入力信号が解除する度に解除通報する」にするとOFF（開放）になったときも通報します。ON（短絡）、OFF（開放）は「入力信号の接点仕様」でa接点かb接点かを選ぶことができます。

### 停電・復電

本体が停電を検知したときに、停電通報を行います。停電保証時間の10分以内に復電すれば復電通報を行います。

### 全解除

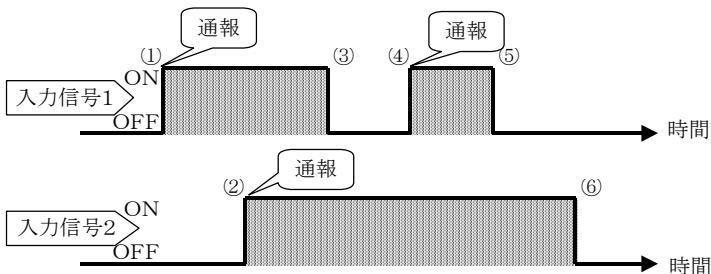
設定で「全ての入力信号が解除になると解除通報をする」にすると、何れかの入力信号がONになった後、全ての入力信号がOFFになった時に、全解除通報を行います。

### 定期通報

設定で「定期通報する」にすると、指定した時間毎に通報を行います。1時間毎から255時間毎に設定できます。例えば、48時間毎に定期通報させれば、2日毎に通報が来ますので装置が正常に動作しているか確認できます。

## 標準設定の時

入力信号が「有り」になったときに通報を行います。設定ソフトの「入力ON」のメッセージで通報します。



1. 入力信号 1 「有り」…通報する
2. 入力信号 2 「有り」…通報する
3. 入力信号 1 「無し」…通報しない（個別解除呼出の設定がしていないとき）
4. 入力信号 1 「有り」…通報する
5. 入力信号 1 「無し」…通報しない（個別解除呼出の設定がしていないとき）
6. 入力信号 2 「無し」…通報しない（全解除呼出の設定がしていないとき）

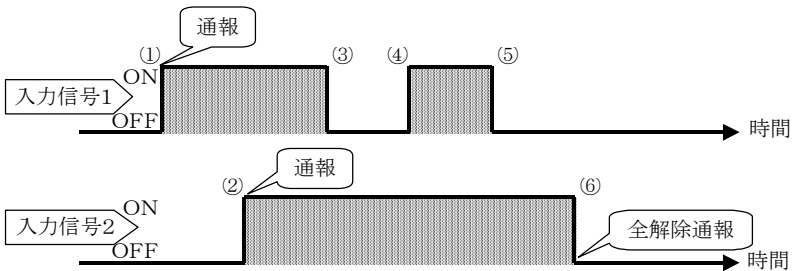
## 全解除呼出設定

全ての入力信号が「無し」になったときに解除通報を行います。

既に通報済みの入力、他の入力が「有り」のときには無視され、変化しても通報しません。全入力が「無し」になった後に「有り」になると通報します。

この機能は、「個別解除呼出」を選択している場合は設定できません。

設定ソフトの「全解除」のメッセージで通報します。



1. 入力信号 1 「有り」…通報する
2. 入力信号 2 「有り」…通報する
3. 入力信号 1 「無し」…通報しない（個別解除呼出の設定がしていないとき）
4. 入力信号 1 「有り」…通報しない（既に通報済みであり、入力2が「有り」であるため）
5. 入力信号 1 「無し」…通報しない（個別解除呼出の設定がしていないとき）
6. 入力信号 2 「無し」…通報する（全解除呼出の設定がしてあるから）

## 個別解除呼出

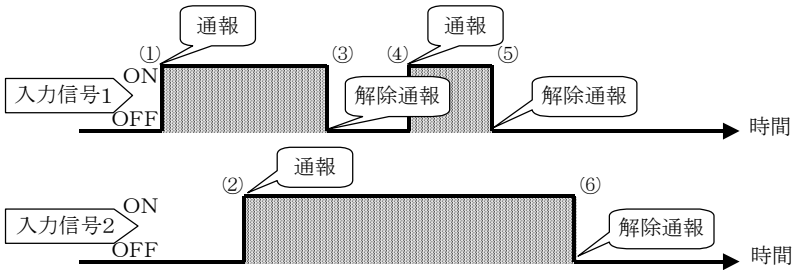
各入力信号が「無し」になると解除呼出を行います。

設定ソフトで「入力OFF」のメッセージで通報します。

この機能は、「全解除呼出設定」を選択している場合は設定できません。

この設定をすることで、センサーなどの信号出力が誤報検知を出したとき、すぐに復旧すれば解除呼出によって誤報の確認が出来ることもあります。

個別解除呼出に設定すると、入力変化の度に通報しますから通報頻度が高い場合は通信料が多くなります。入力信号が頻繁に変わるところで設定する場合は注意が必要です。



1. 入力信号1「有り」…通報する
2. 入力信号2「有り」…通報する
3. 入力信号1「無し」…通報する（個別解除呼出の設定がしてあるから）
4. 入力信号1「有り」…通報する（個別解除呼出の設定がしてあるから）
5. 入力信号1「無し」…通報する（個別解除呼出の設定がしてあるから）
6. 入力信号2「無し」…通報する（個別解除呼出の設定がしてあるから）

## 停電時発信

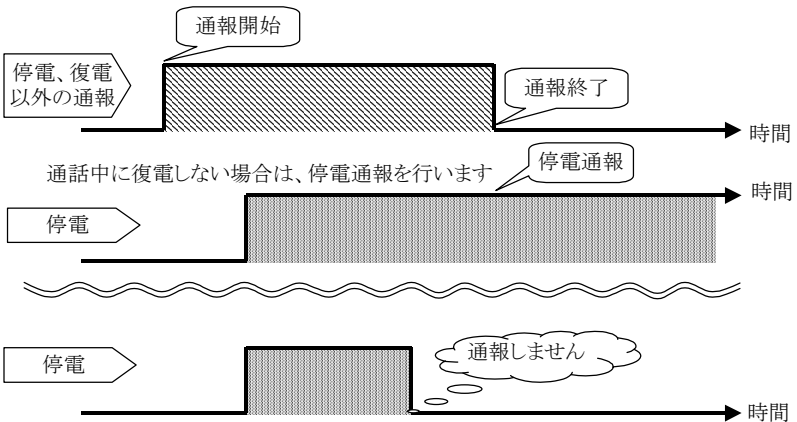
停電や復電があったときに通報します。

「停電や復電時に通報する」を選択した場合は、停電時、復電時ともに通報します。

携帯メールに通報するときは、停電時のメッセージ、復電時のメッセージとなります。

停電通報は「全解除呼出」や「個別解除呼出」とは関係なく、別の呼出として通報します。

設定ソフトで「停電」と「復電」のメッセージで通報します。



## 1回の通報にかかる時間と料金

通報時間は通報先が1件でも30件でも約1分で終了します。

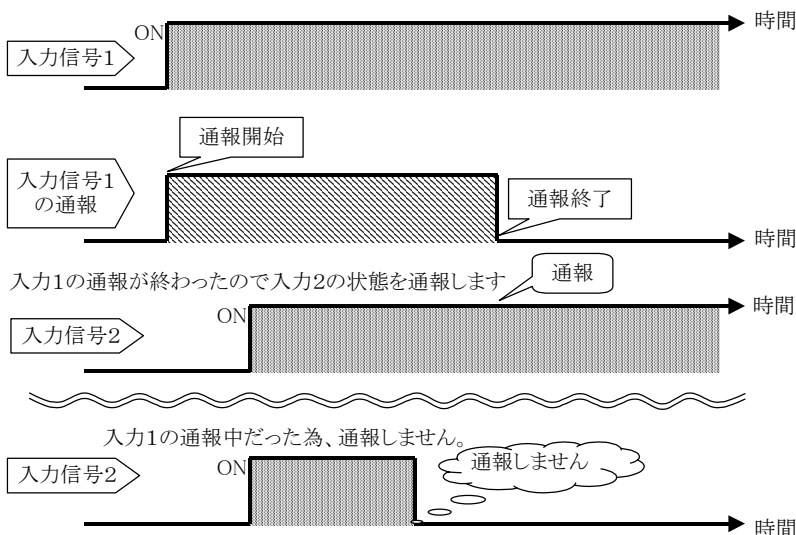
1回の通報でパケット料金は約10～18円になります。(0.35円/パケットの場合)

通報時のネットワークの状況により変わります。

## 通報を終了するまでに発生したイベント

通報中に新たに発生したイベント(通報を行う条件が整った状態)は、現在の通報が設定通りに終了しない限り通報を開始しません。

例：入力信号1が「有り」になった時の動作例



## リダイヤルについて

電話がかからなかった場合や、通信中に応答が無くなった場合、一度回線を切り、リダイヤルを行います。最初の10回は連続してリダイヤルを行います。11回目以降は1時間毎にリダイヤルを行います。ネットワークやサーバー障害の場合、復旧に時間がかかる場合がありますので、パケット料金が多くならないようにしてあります。

# 動作設定

本装置は、ご利用の前に送信元のメールアドレス、通報先のメールアドレス、通報メッセージなどを登録しておく必要があります。設定は、「設定ソフトウェア(Windows 98(SE)/Me/2000/XP 用)」で行います。

ご自分で設定ができないときは、パソコンを持っている方をお願いするか、弊社に設定をご依頼ください。また、御購入後の変更依頼も承ります（有料。送料も必要です）。

## 設定に使用するパソコン

設定を行う場合、以下の仕様のパソコンが必要です。

- |               |                                                               |
|---------------|---------------------------------------------------------------|
| ・CPU          | 66MHz i486DX以上（Pentium 以上を推奨）                                 |
| ・OS           | 日本語 Windows 98(SE)、Windows Me、Windows 2000(SP1 以降)、Windows XP |
| ・ハードディスク      | インストールに7MB程度程度の空きエリアが必要                                       |
| ・メモリ          | 実装メモリ64MB以上                                                   |
| ・モニター         | 解像度800×600ドット以上が表示可能なカラーディスプレイ                                |
| ・ビデオカード       | 800×600ドット以上で、256色以上が表示可能なもの                                  |
| ・コミュニケーションポート | COM ポート D-sub 9 ピンが必要（設定内容を転送する時に使用）（ケーブルは本製品に付属しています）        |

\* 既にインストール済みのソフトウェアやハードウェアの設定、その他の状況により、設定ソフトが正常に動作しない場合もあります。

\* パソコンのコネクタがD-sub 25 ピンの場合は、D-sub 25 ピン → 9 ピンの変換コネクタを別途ご準備下さい。

\* パソコンのコネクタにCOM ポートがなく USB ポートしかない場合、USB ポート→D-sub9 ピン変換ケーブルを別途ご準備下さい。

\* 付属している通信ケーブルを本装置と接続するときプラグの固定ネジは絞める必要はありません。また、差し込み時は数ミリしかプラグが入りませんので抜けない様にご注意下さい。

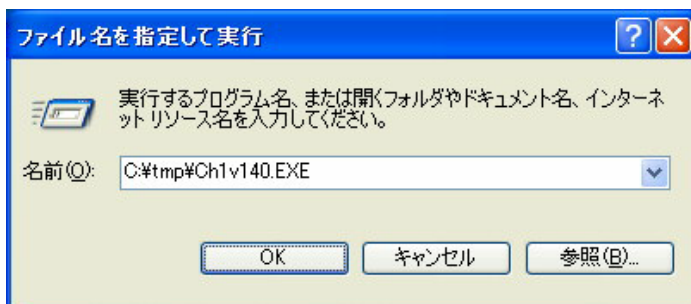
## 設定ソフトのインストール

ソフトウェアをインストールする前に、実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。  
セットアップファイルをダウンロードして実行すると自動的にインストールが始まります。

[スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行(R)]を選択します。



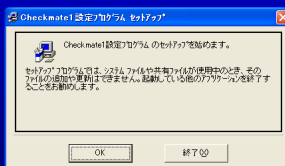
「ファイル名を指定して実行(R)」のウィンドウが表示されたら、名前(Q)の右の入力ボックスにダウンロードしたファイル Ch1v140.EXE と入力して、[OK] ボタンをクリックします。(ファイル名は設定ソフトのバージョンにより異なります)



[OK] ボタンをクリックしてからしばらくすると次の画面が表示されます。

以下のダイアログボックスが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

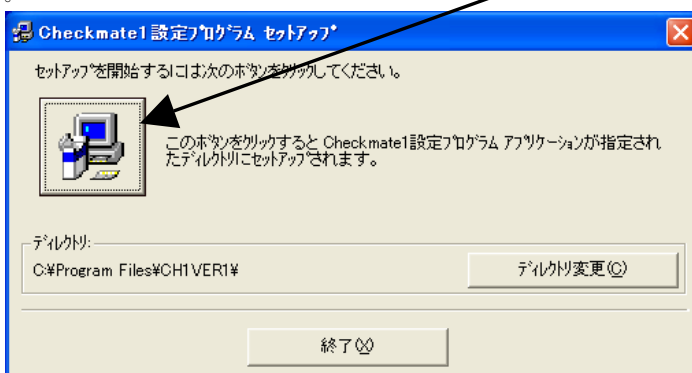
### Checkmate1 設定プログラム セットアップ



[OK]ボタンをクリックすると下記の画面が表示されます。

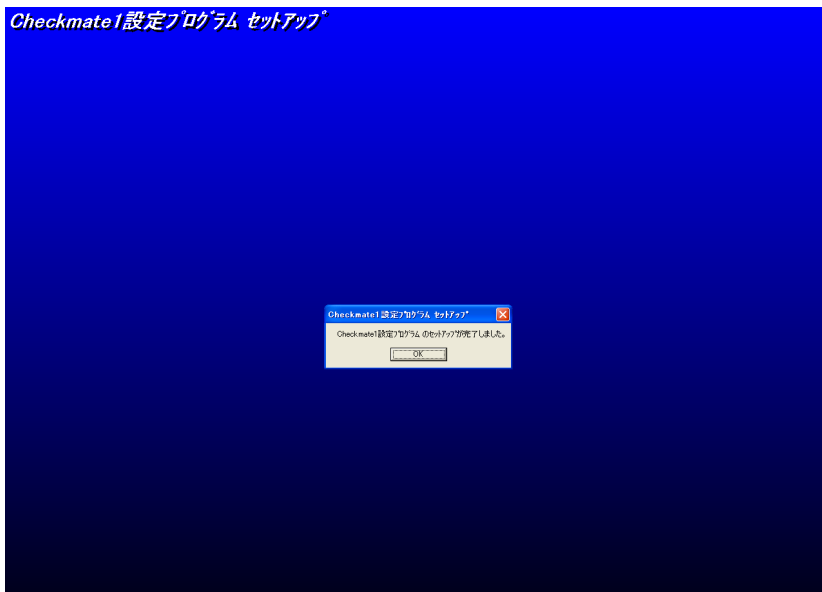
インストール先のディレクトリを変更したい場合は、[ディレクトリ変更(C)] ボタンをクリックして変更します。

設定ソフトウェアをインストールするディレクトリを指定して大きなボタンをクリックします。



インストールを中断しない限り、[終了(X)] ボタンをクリックしないで下さい。  
このボタンをクリックすると、インストールせずに終了してしまいます。

以下の画面が表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

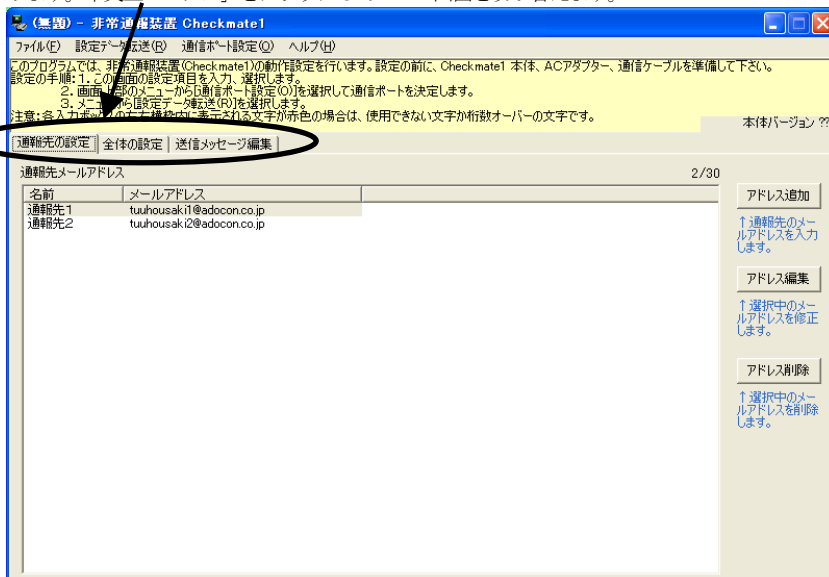


[OK]ボタンをクリックしてセットアップが終了したら、**パソコンを再起動**して下さい。

## 設定ソフトウェアの起動

[スタート]メニューから[プログラム(P)]の[Checkmate1 設定]を選択して設定ソフトウェアを起動して下さい。

「Checkmate1」の設定画面は、「通報先の設定」、「全体の設定」、「送信メッセージ編集」の3つがあります。中央上の「タブ」をクリックして3つの画面を切り替えます。



画面の各設定項目上にマウスポインタを移動させると、項目毎の説明が表示されます。

[送信元のメールアドレス]など設定項目が赤い文字で表示されている場合は、必須の入力項目のときか入力に誤りがある場合です。

「Checkmate1」への転送は何回でも行えますので、最初は練習のつもりで色々と変えて転送してみてください。

## 通報先の設定

通報先のメールアドレスをここで入力します。最大30箇所まで指定できます。

通報先の設定 | 全体の設定 | 送信メッセージ編集 |

通報先メールアドレス 2/30

| 名前   | メールアドレス                |
|------|------------------------|
| 通報先1 | tuihousak1@adocn.co.jp |
| 通報先2 | tuihousak2@adocn.co.jp |

アドレス追加  
↑ 通報先のメールアドレスを入力します。

アドレス編集  
↑ 選択中のメールアドレスを修正します。

アドレス削除  
↑ 選択中のメールアドレスを削除します。

### アドレスの追加

通報先のメールアドレスを追加するには「アドレス追加」ボタンを選択します。

「アドレス追加」ボタンを選択すると名前とメールアドレスを入力するウィンドウが表示されます。

アドレス追加

**メールアドレスの追加**

名前:

↑ 通報先の名称です。全角文字が使えます。省略できます。

メールアドレス:

通報先のメールアドレスです。全角文字と一部の半角文字は使えません。  
例) checmate1@mopera.ne.jp

OK キャンセル

「名前」には通報先の名称を入力します。全角文字も使用できます。20文字まで入力できます。  
※現在はこの名称を通報時に参照することはありませんので、空欄にしても構いません。

「メールアドレス」には通報先のメールアドレスを入力します。全角文字と一部の半角文字は使えません。50文字まで入力できます。

「メールアドレス」を入力したら「OK」ボタンを選択してください。「通報先メールアドレス」の一覧に追加されます。

## アドレスの編集

「通報先メールアドレス」の一覧の何れかを選択して「アドレス編集」ボタンを選択すると、既に入力されたアドレスを修正するためのウィンドウが表示されます。

アドレス編集

**メールアドレスの追加**

名前: 通報先1  
↑ 通報先の名称です。全角文字が使えます。省略できます。

メールアドレス: tuuhousaki1@adocon.co.jp  
通報先のメールアドレスです。全角文字と一部の半角文字は使えません。  
例) chechmate1@mopera.ne.jp

OK キャンセル

編集し終わったら「OK」を選択してください。「通報先メールアドレス」の一覧上に修正が反映されています。

## アドレス削除

「通報先メールアドレス」の一覧の何れかを選択して「アドレス削除」ボタンを選択すると、選択されたメールアドレスが通報先から削除されます。確認のメッセージが表示されますので「OK」を選択してください。

アドレス削除

## 全体の設定

全体の設定は2つ目のタブをクリックすると表示される下図の画面で行います。

通報先の設定 [室律の設定] 送信メッセージ編集

送信元の名前:

送信元の名前を入力します。送信メールの差出人欄に設定されます。  
例) 通報装置 0001  
携帯電話で受ける場合は必要ありませんので空欄にておいて構いません。

送信元のメールアドレス:

送信元のメールアドレスを入力します。  
例) checkmate1@mopera.ne.jp  
送信メールがエラーの場合、エラーメールが返ってくるアドレスになります。アドレスが無ければ初期値のままにしてください。省略できません。

モペラの設定...

解除通報の方法

- ☐ 全ての入力信号が解除になると解除通報を行います
- ☐ 各入力信号が解除する度に解除通報を行います
- ☒ 解除通報を行わない

入力信号の接点仕様

- ☐ 入力信号1
- ☐ 入力信号2
- ☐ 入力信号3
- ☐ 入力信号4

チェックを入れると外部入力がOFFのときに入力ありと判断します

入力信号のチャタリング時間(秒)

入力1  ms

入力2  ms

入力3  ms

入力4  ms

接点入力がこの時間以上ON/OFFになったら入力有りと判定する時間を設定します

☐ 停電や復電時に通報する

☐ 電源ON時に60秒間入力信号を無視する

☐ 定期通報する  時間毎

### 送信元の名前

送信元の名前を入力します。送信メールの差出人欄に設定されます。携帯電話で受ける場合は必要ありませんので空欄にておいて構いません。

送信元の名前:

### 送信元のメールアドレス

送信元のメールアドレスを入力します。送信メールがエラーの場合、エラーメールが返ってくるアドレスになります。省略できません。アドレスが無ければ初期値のままにしてください。

送信元のメールアドレス:

### 停電や復電時に通報する

□内をクリックする毎にチェックが付いたり消えたりします。チェックを付けると停電や復電時に通報するようになります。詳細説明は12ページの「停電時発信」をお読みください。

☐ 停電や復電時に通報する

### 電源ON時に60秒間、入力信号を無視する

□内にチェックを付けると、電源スイッチを入れたときに60秒間、動作ランプ(黄)が低速点滅します。この間、入力信号がON/OFFして通報しません。

「検知センサーCM-02」を使用される場合はチェックを入れてください。

☐ 電源ON時に60秒間入力信号を無視する

## 定期通報する

□内にチェックを付けると、指定時間毎に通報を行うことができます。右側の時間は上下のボタンで変更できます。1～255の値が設定できます。

☒ 定期通報する    24 ÷ 時間毎

## 解除通報の方法

入力信号が解除されたとき（機器の故障やセンサーの信号が「なし」の状態になったとき）に通報する方法を、ここで選択します。通報方法についての詳細説明は10ページの「通報の種類と料金」をお読みください。

**解除通報の方法**

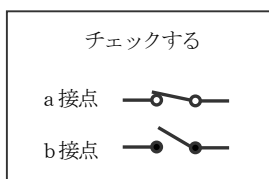
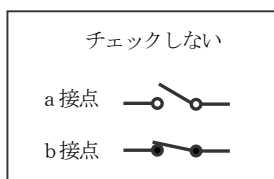
☐ 全ての入力信号が解除になると解除通報を行います  
☐ 各入力信号が解除する度に解除通報を行います  
☒ 解除通報を行わない

## 入力信号の接点仕様

各入力のア接点、b接点を変更します。□内チェックでb接点仕様です。

**入力信号の接点仕様**

☐ 入力信号1  
☐ 入力信号2    チェックを入れると外部入力OFFのときに入力ありと判断します  
☐ 入力信号3  
☐ 入力信号4



制御装置やセンサーの出力信号は「通報有り」としたいとき、接点が短絡するものや、解放になるものがあります。通常は「通報有り」のとき短絡信号を出力する場合がありますが、制御装置などでは様々です。

ここでは「通報有り」のときに短絡する信号の場合は□内のチェックをはずし、逆に解放となる場合は□内にチェックを付けます。つまり、チェックを付けたものは短絡された状態が通報しないときとなります。設定後にテストされるときはご注意ください。

ソフトを起動したときはチェック付いていません。

また、本体の外部信号入力モニターランプは、外部信号が短絡したとき、点灯します。ここでの設定には無関係です。

## 入力信号のチャタリング時間

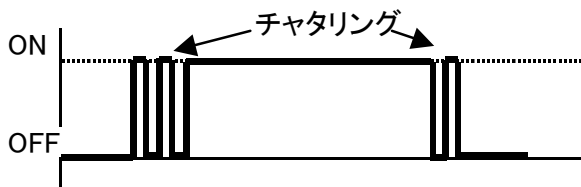
接点入力が短絡してから入力有りと判定するまでの時間をミリ秒単位で指定します。

入力信号のチャタリング時間(ミリ秒)

|     |                                  |    |
|-----|----------------------------------|----|
| 入力1 | <input type="text" value="700"/> | ms |
| 入力2 | <input type="text" value="700"/> | ms |
| 入力3 | <input type="text" value="700"/> | ms |
| 入力4 | <input type="text" value="700"/> | ms |

接点入力がこの時間以上  
ON(OFF)になったら入力有  
りと判定する時間を設定し  
ます

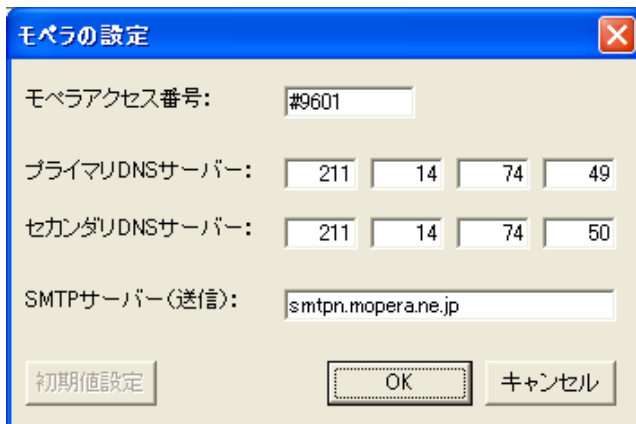
チャタリングとは、入力接点が短絡から開放、または開放から短絡へ変化するとき、短絡と開放を何回か繰り返してから安定する現象のことです。初期値は700 ミリ秒です。数値の横の「▲」と「▼」のボタンを押すと100 ミリ秒単位で0 ミリ秒から310700 ミリ秒（約2 1分）まで設定できます。押しっぱなしすると増減する値が500 ミリ、1000 ミリと増えていきます。数値の部分にカーソルを表示させ、直接数値を入力することもできます。



## モペラの設定

メールを送信する場合、モペラで電話をかけてモペラの送信サーバーを使用します。それらの設定を行います。※通常は初期値のままでお使いください。ボタンを選択すると設定ダイアログが表示されます。

モペラの設定...



モペラの設定

モペラアクセス番号: #9601

プライマリDNSサーバー: 211 14 74 49

セカンダリDNSサーバー: 211 14 74 50

SMTPサーバー(送信): smtpn.mopera.ne.jp

初期値設定 OK キャンセル

- ・ モペラアクセス番号：モペラへ電話をかけるときの番号です。
- ・ プライマリ DNS サーバー：SMTP サーバーの IP アドレスを問い合わせるときに使用します。
- ・ セカンダリ DNS サーバー：SMTP サーバーの IP アドレスを問い合わせるときに使用します。
- ・ SMTP サーバー：モペラのメール送信用サーバー名です。
- ・ 初期設定：設定を初期値に戻します。
- ・ OK：設定を反映させます。
- ・ キャンセル：設定をキャンセルします。

## 送信メッセージの編集

送信メッセージの編集は3つ目のタブをクリックすると表示される下図の画面で行います。

| 通報先の設定   全体の設定   <b>送信メッセージ編集</b> |               |     |
|-----------------------------------|---------------|-----|
|                                   |               | 文字数 |
| 件名                                | 通報            | 2   |
| 入力1 ON                            | 入力1がONになりました  | 12  |
| 入力1 OFF                           | 入力1がOFFになりました | 13  |
| 入力2 ON                            | 入力2がONになりました  | 12  |
| 入力2 OFF                           | 入力2がOFFになりました | 13  |
| 入力3 ON                            | 入力3がONになりました  | 12  |
| 入力3 OFF                           | 入力3がOFFになりました | 13  |
| 入力4 ON                            | 入力4がONになりました  | 12  |
| 入力4 OFF                           | 入力4がOFFになりました | 13  |
| 全解除                               | 警報が全て解除しました   | 11  |
| 停電                                | 停電が発生しました     | 9   |
| 復電                                | 復電しました        | 6   |
| 定期通報                              | 定期通報です        | 6   |

起動時に予めメッセージが登録されています。適当なメッセージ変更して下さい。

## 件名

送信する件名（タイトル）です。全角文字が使用できます。20文字まで入力できます。全ての通報で共通です。

## 入力信号1～4のON、OFF

各入力がON（短絡）になったら通報するメッセージと、OFF（開放）になったら通報するメッセージを入力します。全角文字が使用できます。50文字まで入力できます。

「全体の設定」タブの「解除通報の方法」で「各入力信号が解除する度に解除通報を行います」にチェックを付けていた場合、信号が「有り」になったときONのメッセージが、信号が「無し」になったときOFFのメッセージが送信されます。

## 全解除

「全体の設定」タブの「解除通報の方法」で「全ての入力信号が解除になると解除通報を行います」にチェックを付けていた場合に送信されるメッセージです。全角文字が使用できます。50文字まで入力できます。

## 停電・復電

「全体の設定」タブで「停電や復電時に通報する」にチェックを付けていた場合に送信されるメッセージです。全角文字が使用できます。50文字まで入力できます。

## 定期通報

「全体の設定」タブで「定期通報する」にチェックを付けていた場合に送信されるメッセージです。全角文字が使用できます。50文字まで入力できます。

# 通信ポートの確認

設定内容を転送する時に使用する通信ポートを選択します。

メニューから「通信ポート設定(0)」をクリックして、下記ウィンドウを開きます。

**通信ポート設定**

Checkmate1 に設定内容を送信するシリアルポートを選択して下さい。

☒ 通信ポートを自動的に検出する

通信ポート指定

☒ COM1  
 ☐ COM2  
 ☐ COM3  
 ☐ COM4  
 ☐ COM5  
☐ COM6  
☐ COM7  
☐ COM8  
☐ COM9

OK      キャンセル

選択できないポートは他で使用されているか、無い場合です。

## 通信ポートを自動的に検出する

「Checkmate1」に接続されている通信ポートを探して転送を行います。通常はここにチェックを付けておいてください。

## 通信ポート指定

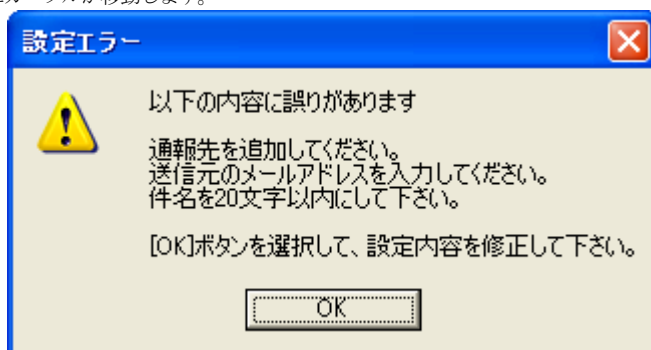
「通信ポートを自動的に検出する」で転送が失敗する場合、チェックを外して「Checkmate1」が接続されている通信ポートを選択してください。使用出来ない通信ポートがあれば薄色で表示されて選択できない状態になります。転送に使用する通信ポートをマウスで選択したら、[OK] ボタンをクリックします。

## 本体とパソコンの接続

本体とパソコンを付属の「通信ケーブル」で接続します。本体側は「初期設定設定コネクタ」、パソコン側は「[OQ]」のマークがあるコネクタに接続します。

## 設定内容の転送

設定画面で入力が完了しましたら、メニューから「設定データ転送(R)」を選択して下さい。設定画面で、入力エラーがあったときは下図のようなメッセージが表示され、設定画面上の誤りが見つかった部分にカーソルが移動します。



[OK] ボタンをクリックして、誤りが見つかった所を修正してから再度「設定データ転送(R)」を選択して下さい。

「設定内容の転送」画面では、本製品に設定画面で入力された設定内容の転送作業を行います。画面に表示される説明に従ってスイッチの操作や通信ケーブルの接続を行います。必ずACアダプタから電源供給をして転送してください。充電池だけで転送すると充電が不十分な場合、転送が失敗することがあります。

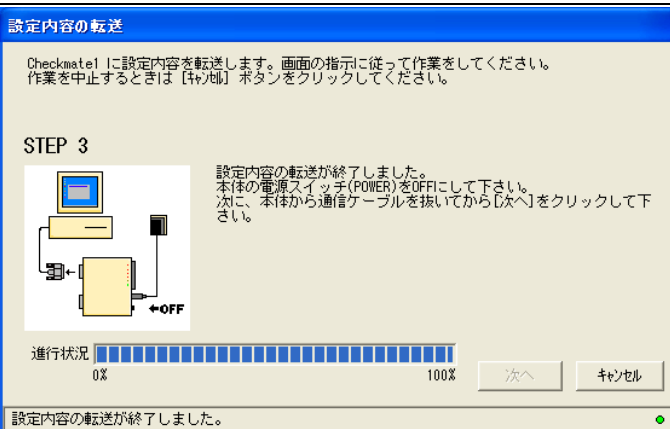


「次へ」のボタンをクリックします。

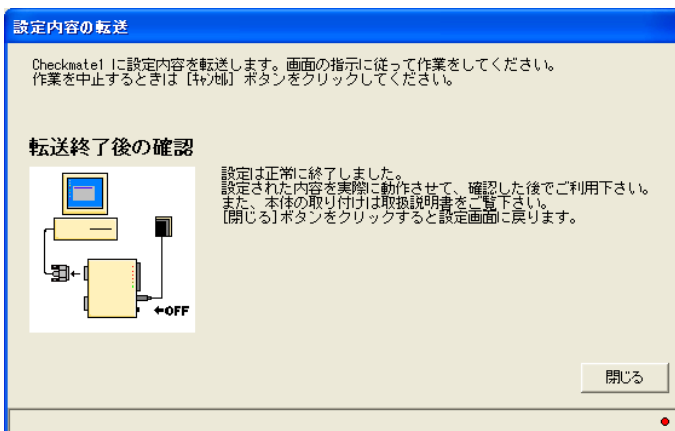
画面の指示に従って操作すると自動的にデータの転送が開始されます。



しばらくして、転送が終わると下図のようになります。



転送が終了し、通信ケーブルのコネクタを抜くと「次へ」のボタンが使えるようになります。「次へ」ボタンをクリックすると最後に確認画面が表示されます。



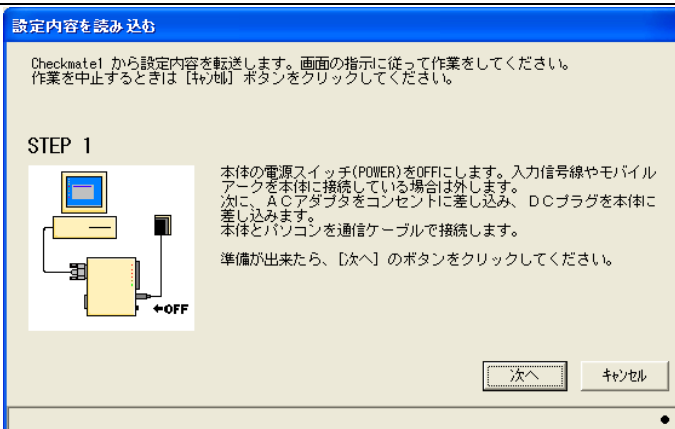
「閉じる」をクリックすると転送作業が終了し、元の画面に戻ります。

一回設定内容を転送するか、本体から設定内容を読み込むと本体のバージョン番号が表示されます。

本体バージョン 2.00

## 本体から設定内容を読み込む

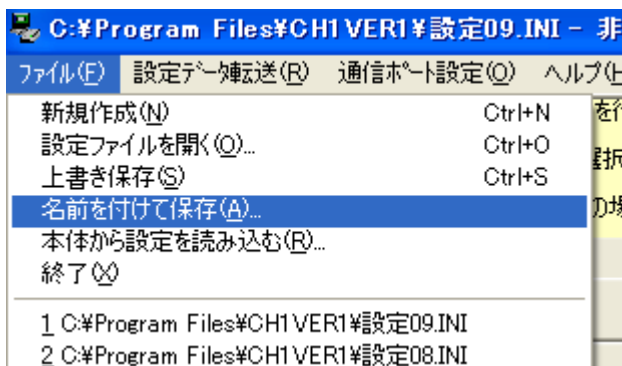
本体に現在保存されている設定を読み込みます。本体が、どのような設定になっているか確認することができます。「ファイル(F)」メニューの「本体から設定を読み込む(R)…」を選択してください。転送を開始する画面が表示されます。



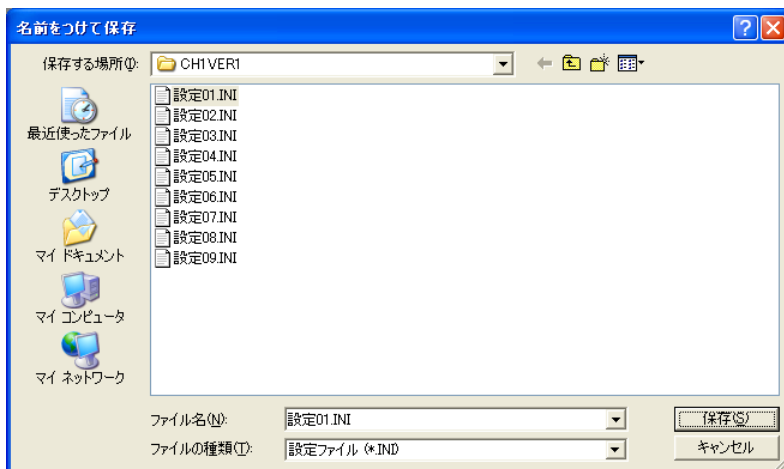
後は、画面の指示に従って操作をして下さい。手順は「設定内容の転送」と同じです。転送終了後、本体から読み込んだ設定が画面に表示されます。

## 設定内容の保存

設定内容をファイルに保存したり、ファイルから読み込んだりするにはメニューの「ファイル(F)」から行います。



設定された内容をファイルに保存する時は、[ファイル(F)] メニューの [名前をつけて保存(A)] を選択します。保存先のフォルダ、ファイル名を指定して[保存(S)] ボタンをクリックします。保存する設定ファイルは、INI の拡張子を持つファイルとなります。



## 新規作成

全ての設定項目を初期状態にします。現在の設定が保存してなければ保存するか問い合わせてみます。

## 設定ファイルを開く

保存した設定ファイルを開く場合は、[ファイル(F)] メニューの [設定ファイルを開く(O)] を選択し、開きたい設定ファイルを選択して [開く(O)] ボタンをクリックします。

現在の設定が保存してなければ保存するか問い合わせてみます。

## 上書き保存

既に開かれているファイルに上書き保存する場合は、[ファイル(F)] メニューの [上書き保存(S)] を選択します。

## 名前を付けて保存

設定された内容をファイルに保存する時は、[ファイル(F)] メニューの [名前をつけて保存(A)] を選択します。

## 本体から設定を読み込む

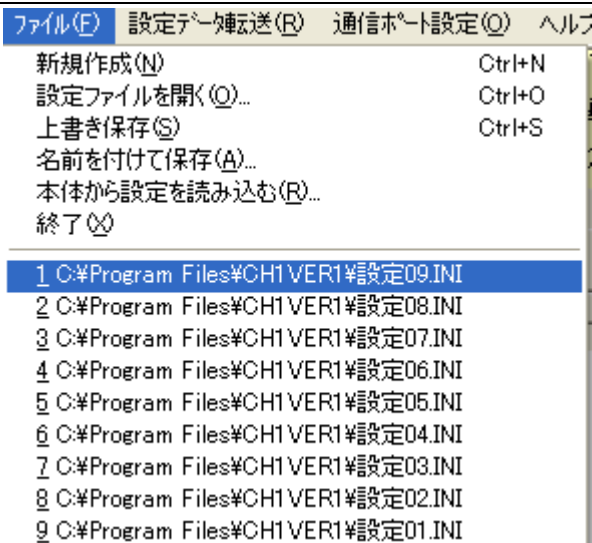
29ページを参照してください。

## 終了

設定ソフトを終了します。

## 以前に編集したファイル

過去に開いたファイルの履歴を 10 個まで表示します。表示されているファイルを選択すると、そのファイルを開きます。現在の設定が保存してなければ保存するか問い合わせてみます。



## 動作確認

本体の設定が終了したら、設定したように動作するか必ず確認して下さい。

1. 「電源スイッチ」を OFF にします。
2. ACアダプターを電源コンセントに差し込み、ACアダプターから出ている電源プラグを本体に接続します。
3. 付属の通信ケーブルでモバイルアークを接続してください。
4. 付属のモバイルアーク用電源ケーブルで本体とモバイルアークのDC INを接続してください。
5. モバイルアークの電源スイッチを「入」にして下さい。
6. 本体の電源スイッチをONにして下さい。15秒間待ちます。(初期化中)
7. 各入力信号の端子と、共通端子をリード線等で結線させ通報させます。通報先の携帯電話やパソコンでメールが届いたか確認します。

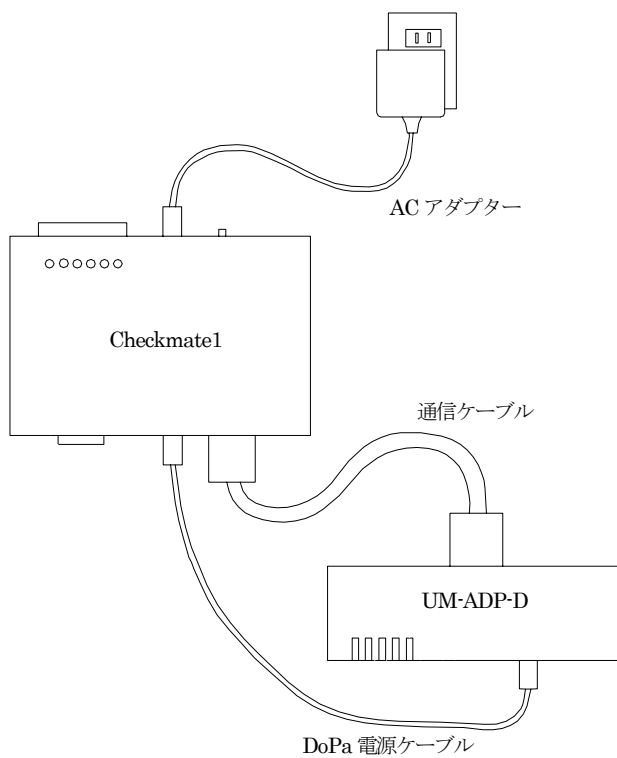
## ご注意

**※UM-ADP-D の設定は、上蓋をスライドさせてDoPa チップをセットします。次に設定スイッチの6番と7番をOFFにしてその他のスイッチは全てONにしてください。**

※通報先メールアドレスが間違っていた場合、エラーのメールが「送信元のメールアドレス」で設定したメールアドレスに届きますのでパソコンなどで確認してください。

※電波やネットワークの状況により同じメールが2通届く場合があります。

## (接続図)



# 設置方法

## 設置場所を決める

本体を設置する前に、本書の「7」ページ、「設置場所について」と「44」ページ、「仕様」を確認の上、設置場所を決めて下さい。

壁や天井などに取り付ける場合は、自動車用両面テープを使用して下さい。

また、本体と接続されるケーブルが余裕をもって設置出来るような空間を確保して下さい。

## 制御盤などに設置する場合

制御盤などに設置する場合、Checkmate1 のケースは GND になっています。制御盤に取り付けられる部分が GND になっていない場合、Checkmate1 が抑圧されて正常に動作しません。制御盤と Checkmate1 を絶縁して使用して下さい。

## 接続工事

### 本体側の端末

UM-ADP-D は、上蓋をスライドさせて DoPa チップをセットします。次に設定ダイヤルスイッチの 6 番と 7 番を OFF にしてその他のスイッチは全て ON にしてください。

次にアンテナを接続します。1 本のアンテナを使用する場合はアンテナ 1 に接続します。2 本のアンテナを使用する場合はアンテナ 1 とアンテナ 2 にそれぞれ接続します。

### 入力端子接続

#### 接続に関するご注意

COM（共通端子）は端子の端から 2 番目になっていますお間違えないように。

接続できる信号は無電圧のものに限ります。商用（AC）100V や直流電圧がかからないようにしてください。

#### 接続

各信号は COM（共通端子）と 1～4 の間に接続します。

信号は無電圧 a 接点または無電圧 b 接点の電圧のかかっていないものを接続します。

設定ソフトで各入力のア接点、b 接点を変更することもできます。

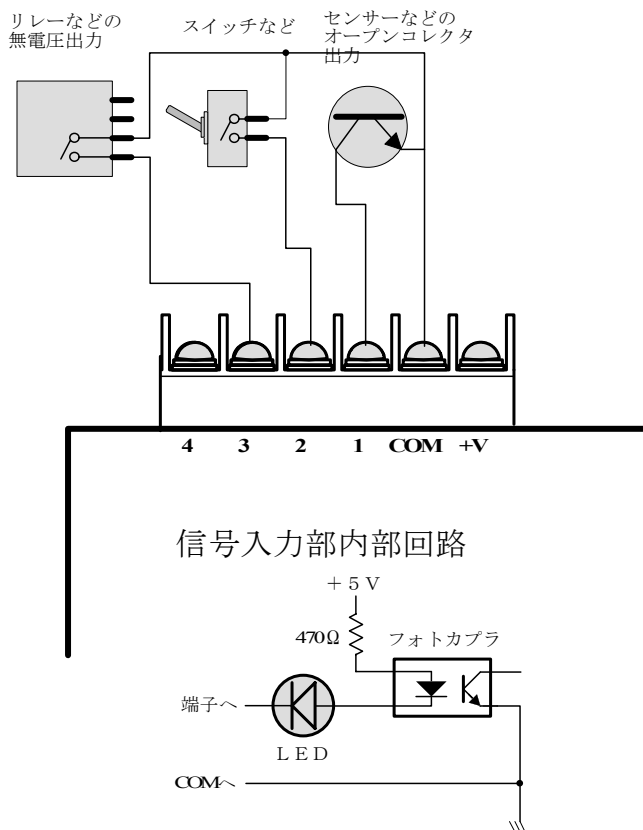
1 つの入力に複数の入力を並列に接続して一括故障などとすることもできます。

入力は、一定時間以上の間継続して ON（OFF）の時に、入力変化があったとみなし通報します。時間は設定で変更できます。初期値は 700 ミリ秒です。

### センサー用電源

「+V」端子は、外部センサーなどの電源に利用するための電源出力で +5V です。使用できる最大電流は 30mA です。センサー等でセンサー用電源を使用している場合、停電時はセンサー用電源も停電保障充電池で供給しますから停電保障時間が短くなります。

## 信号入力内部回路



## ACアダプタの接続

アダプタ本体をコンセントに差し込み、アダプタから伸びているコードのプラグを本体にさし込みます。

「電源ランプ」はACアダプタから電源供給が無いときでも内蔵電池から電気が供給されて、「電源スイッチ」ONにすると、点灯します。

制御盤内部のACコンセントを利用する場合、ACコンセントに電気が来ていないことがあります。

制御盤内部のブレーカーやスイッチでコンセント電源を入り切り出来る場合はご注意ください。

内蔵電池を取り外してから「電源スイッチ」をONにしたとき「電源ランプ」が点灯すればコンセントに電気がきています。

# 通報の受信

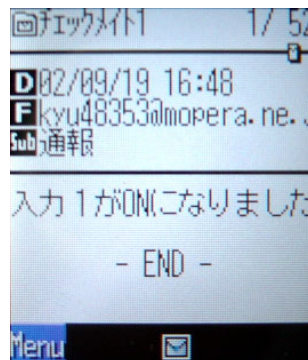
## 受信装置

電子メール（Eメール）が受信できる携帯電話、パソコン、その他端末機器です。

### 携帯電話を通報先に指定した場合

携帯電話で受信すると右の写真になります。

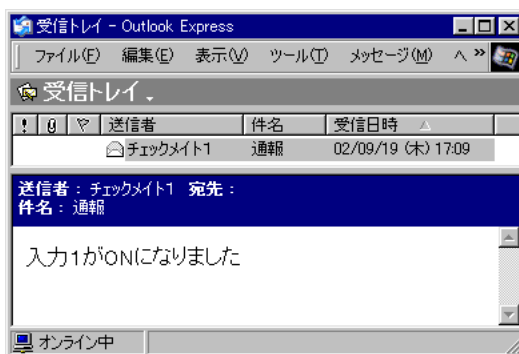
- 2行目の日付は入力信号が変化した時間ではなく、通報するためにメールサーバーへメールを送信した時間です。入力信号の変化の時間との誤差は数秒～1分程度です。回線の状態により遅れることもあります。
- 3行目は設定ソフトで設定した「送信元のメールアドレス」です。携帯電話の電話帳にこのメールアドレスを適当な名前で登録しておけば、その名前が表示されるようになります。
- 4行目は件名です。設定ソフトで設定した「件名」がここに表示されます。設定ソフトでは20文字まで設定できますが、携帯電話によっては表示される文字が少なくなる場合もあります。
- 5行目からが本文です。



### パソコンで通報を受けた場合

パソコンで受信すると右の写真になります。

- 送信者は設定ソフトで設定した「送信元の名前」が表示されます。「送信元の名前」を設定していなければ「送信元のメールアドレス」が表示されます。



# 動作モニター

## 表示モニターランプ

### 起動時

電源ONで電源ランプと動作ランプ(黄)が点灯します。

ACアダプターから電源が来ていなくて電池で動作している場合は、動作ランプ(黄)が10回高速点滅します。

設定ソフトで「電源ON時に60秒間入力信号を無視する」にチェックを入れた場合、動作ランプ(黄)が60秒間低速点滅します。

モバイルアークがつながれていた場合、動作ランプ(黄)が消灯します。

### 設定ソフトで転送する時

設定ソフトで転送するとき電源をONすると電源ランプと動作ランプ(黄)が点灯します。

ACアダプターから電源が来ていなくて電池で動作している場合は、動作ランプ(黄)が10回高速点滅します。設定を行うときはACアダプターから電源を供給してください。

設定ソフトで転送を行ったとき、転送中、動作ランプ(黄)は点灯します。

### 通報の状態から見たとき

- 電話を接続中  
「動作ランプ(黄)点灯 (回線を接続してから切断するまでの間)」
- 再ダイヤル待機中  
「動作ランプ(黄)低速点滅(再ダイヤルを開始するまで)。 待機時間終了で1項へ進む。」
- 再ダイヤル待機中  
「動作ランプ(黄)2回点滅して1秒消灯(再ダイヤルを開始するまで)。 1時間の待機時間終了で1項へ進む。 11回目から再ダイヤルの場合はこの待ち時間になります。」
- メールの送信が終了したとき  
「動作ランプ(黄) が消灯します。」

| 動作ランプ(黄)           | 状 態                                  | 備 考     |
|--------------------|--------------------------------------|---------|
| 点灯                 | 通常                                   | 起動時・転送中 |
| 高速点滅 (10回)         | ACアダプターから電源が<br>きていない                | 起動時・転送時 |
| 高速点滅 (60秒)         | 設定で、電源ON時に60秒間入力信<br>号を無視にチェックしているとき | 起動時     |
| 低速点滅               | モバイルアークがつながれている                      | 初期化時    |
| 点灯                 | 電話を接続中                               | 通報時     |
| 低速点滅               | 再ダイヤル待機中 (10回まで)<br>繰り返しリダイヤル        | 通報時     |
| 低速点滅<br>(2回点滅1秒消灯) | 再ダイヤル待機中 (11回以降)<br>1時間おきにダイヤル       | 通報時     |
| 消灯                 | メール送信終了                              | 通報時     |

※電源ランプは電源ON時は常時点灯です

# 停電保証について

充電式電池が新品の場合で、完全充電されている状態で、入力端子のランプが消灯して、センサー用電源を使用していない場合は10分間以上動作します。但し発信する回数により増減します。

停電通報を含めて3回以上通報出来ます。

停電保証時間は入力端子が全てOFFの時の時間です。入力がONでLEDが点灯していると、その分電力を消費しますので、保証時間は短くなります。

## 内蔵電池

本製品に内蔵されております電池は、ニッケル水素充電電池です。

内蔵電池の充電はACアダプタが正しく接続され、商用電源が供給されているときは「電源スイッチ」がOFFでも充電しています。充電はトリクル充電方式により、過充電にならない程度に弱い充電を常時行っております。電気代はわずかですが、長期間にわたって通報装置として使用されないときはACアダプタをコンセントから抜いておかれることをお勧めします。また、停電保証が不要（停電通報しない）のときは設置時に取り外してください。

手動で、停電状態（ACアダプタのプラグを抜いた状態）にして、停電保証が必要な時間内に電源ランプが暗くなるようでしたら交換が必要です。

ACアダプタから電源を供給せずに「電源スイッチ」をONにしてお使いになるような場合や、停電が長引いて電池の電圧が完全になくなったときは、完全充電までに72時間以上かかることがあります。

## Q&A

### プロバイダー

Q. 「モペラ」以外のプロバイダも使えますか

A. 使えません。要望が多ければ検討します。

### 端末

Q. モバイルアークは付属品ですか？

A. 付属しておりません。別途ご準備ください。

Q. 装置を取り付けるところでは圏外となるのですが。

A. 圏外の場所ではご利用になれません。

Q. PHS や携帯電話を装置に取り付けることができますか？

A. できません。

Q. 受信装置に PHS が使えますか？

A. E メールが受信可能なら利用出来ます。

Q. モバイルアークとのケーブルは延長できますか？

A. 市販の RS 232C ストレートケーブル（オス・メス）を使用し通信できますが、電源を供給するケーブルは延長できません。

### 通報

Q. メールが届かないのですが？

A. パソコンにモバイルアークを繋いでモペラのメールアドレスから通報先のメールアドレスに送れるか確認してください。詳しくはモペラ設定マニュアルを参照してください。通報先のメールアドレスが間違っている場合、モペラのメールアドレスにエラーメールが届くこともあるのでモペラのメールボックスを確認してください。エラーメールが返ってくるには数日かかることもあります。1つのメールアドレスではなく、複数の違うメールアドレスに通報するよう設定して試してみてください。現在、無料で使えるメールアドレスが多数ありますので、これらを使っても良いです。また、メーラーやセキュリティソフトの設定によりスパムメールと判断されていないか確認してください。解除方法についてはメーラーやセキュリティソフトの説明書をご参照ください。

Q. 携帯メールのメッセージが文字化けするのですが

A. 半角カタカナや一部の全角文字は電子メールで使用できません。

Q. 接点毎に異なる通報先を指定したいのですが？

A. できません。要望が多ければ検討します。

**Q. メールが遅れてくるのですが。**

A. ネットワークやサーバーの状態によって遅れることがあります。動作テスト時には30分遅れたこともありましたが、また、リダイヤル11回目からは1時間毎に行いますので遅れてくることもあります。

## その他

**Q. チップをバージョンアップしたら動作が変わってしまいました。**

A. 設定ソフトで設定をやり直してください。設定データはバージョンアップ時に交換するチップに保存されています。チップを交換すれば以前の設定データは変わってしまいます。

**Q. 保証はありますか？**

A. はい、ご購入後1年間です。

**Q. 取り付けは素人でも出来ますか？**

A. 侵入通報の用途で、ドアセンサーなどを接続する場合は簡単に取り付けできます。制御盤などに取り付けるときは、電気工事業者にご相談ください。

**Q. 装置を取り付けるところに電源が無いのですが。**

A. 別売りのプラグ付き電源ケーブルと、充電された自動車用バッテリーを使うことで長期間の連続利用が可能です。このとき停電保証電池には充電されません。

**Q. 装置の寿命は、どれくらいですか？**

A. 内部の部品に機械的な接点を使用していないので、長寿命です。故障するケースで最も多いと考えられるのは電源からカミナリが入る場合ですが、これはモデム通信装置などでも同様です。防止策としては回線用避雷器や電源避雷器の市販品を組み込むことで改善されます。

**Q. 業務用に使ったばあいには問題はありますか？**

A. まったく問題ありません。

**Q. 1回の通信に要する時間はどれくらいですか？**

A. 通報先が30箇所でも約1分です。

**Q. 屋外に設置したいのですが。**

A. 本製品は、防水暴雨仕様ではありません。水滴や、雨、粉塵等に晒される場所では適当なケースに組み込んでください。

**Q. 設定ソフトは、Windows98で使用できますか。**

A. Windows98/Me/2000/XPで動作します。

**Q. 2秒間の無電圧接点出力のあるパッシブセンサーを使用できますか？**

A. できます。指定の時間上の間継続してON(OFF)の時に、入力変化があったとみなし通報します。時間は設定ソフトで変更できます。

**Q. 付属の充電電池はどれくらいの期間使用できますか？**

A. 2年以上使用できます。もし、停電状態（ACアダプタのプラグを抜いた状態）にして、停電保証が必要な時間内に電源ランプが暗くなるようでしたら交換が必要です。

**Q. 停電通報だけ電話がかかりません。**

A. 停電保障充電電池の充電が不十分な為、ACアダプターを抜くとランプは点灯しても電話をかけることができません。出荷時には付属の停電保障充電電池には充電が十分されていないので、本体を 72 時間通電させてください。停電保障受電地の充電が行われます。そのあとで停電通報させてみてください。

**Q. 以前購入した時と、今回購入した時と付属のACアダプターが違うのですが。**

A. 製造中止や、その他の理由により付属品が変わる場合があります。

**Q. WhiteLock 集中監視に通報させるには？**

A. 検討中です。

**Q. 設定が出来ないのですが**

A. 以下のことを確認して見てください。

- ・パソコンに通信ケーブルは接続されているか？
- ・Checkmate 1 本体の「初期コネクタ」と「D o P a」コネクタは形状が同じなので挿し間違えてはいないか？
- ・設定のとき、モバイルアークは外してあるか？

**Q. 通信ケーブルを無くしてしまいました。**

A. RS 2 3 2 C ストレートケーブルです。D-sub9pin オスーD-sub9pin メスが使用できます。パソコン等を扱っているお店で購入できます。

**Q. 入力接点に流れる電流はいくらですか？**

A. 約 5 mA です。

**Q. 1つの入力接点に2つのセンサーを接続できますか？**

A. できません。

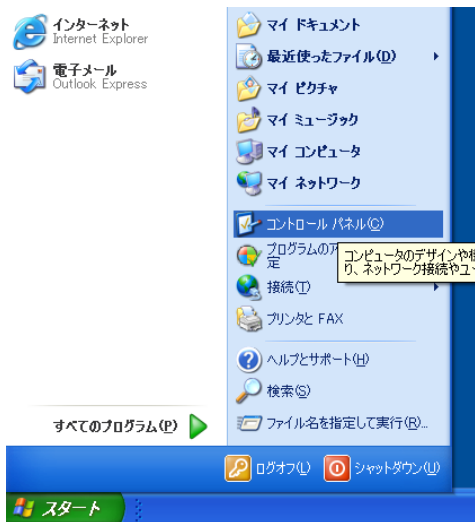
**Q. 1つのセンサーを2台の Checkmate1 に接続できますか？**

A. できません。

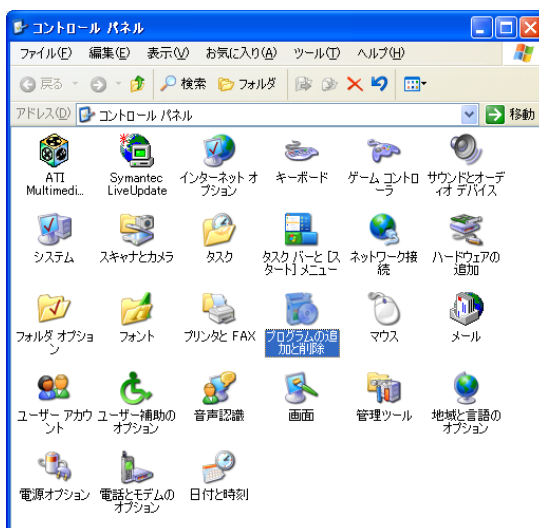
# こんなときには

## 設定ソフトウェアのアンインストール

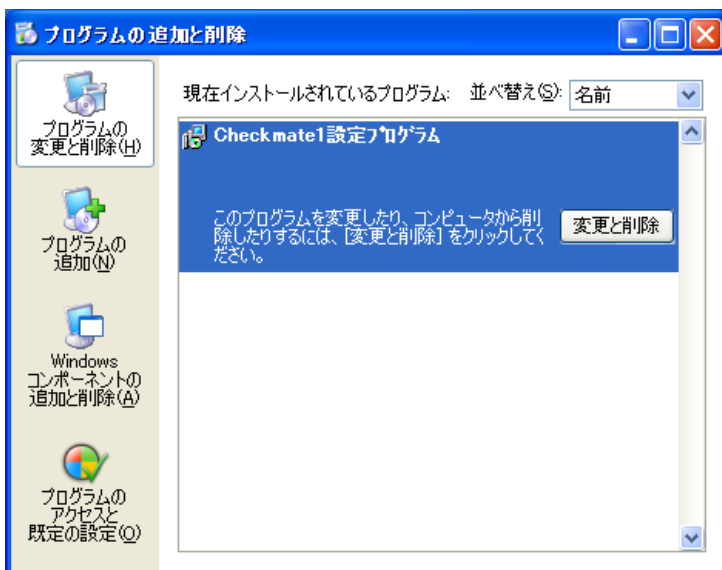
[スタート]メニューの、[設定(S)] から [コントロールパネル(C)]を選択して「コントロールパネル」を開きます。



コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。



削除したいプログラム(Checkmate1 設定プログラム)を選択して、[ 変更と削除 ] ボタンをクリックして画面の指示に従います。



## 本体を清掃するときは

本体のよごれは、やわらかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。  
ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いて拭いたりしますと、有害なガスが発生したり、変形や変色の原因になることがあります。

## 仕様

## 「Checkmate1」 本体

|            |                                              |
|------------|----------------------------------------------|
| 形式         | 電子メールによる通報装置                                 |
| 適用回線       | D o P a、パケット通信回線                             |
| 端末         | DoPa Mobile Ark (UM-ADP-D)                   |
| 動作設定       | 専用パソコンソフトで設定条件等をシリアル転送する                     |
| 信号入力点数     | 4点（無電圧接点、オープンコレクタ）                           |
| 停電復電検出機能   | 本体内部に停電復電検出機能搭載                              |
| 自動発信       | 入力変化                                         |
| 停電保証       | 内蔵電池により、10分間以上、通報3回以上                        |
| 制御CPU      | 8ビット1個                                       |
| 外部インターフェース | シリアル9ピン MobileArk接続用×1<br>パソコン接続用×1          |
| 電源         | ACアダプタ                                       |
| 動作温度       | 0℃～40℃                                       |
| 動作湿度       | 15%～80%（結露なきこと）                              |
| 周囲環境       | 腐食性ガスなきこと。<br>粉塵等汚れの激しい場所での使用は、カバー等で保護して下さい。 |
| 通報先        | 最大30ヵ所                                       |
| メッセージ文字数   | 最大50文字                                       |
| メッセージの種類   | 11種類（入力1～4のONとOFF、全解除、停電、復電）                 |
| 停電保証充電電池   | 006P DC9V、ニッケル水素充電電池 72時間で満充電                |
| 寸法（mm）     | 90(W)×35(D)×135(H)                           |
| 重量         | 重量 約 540g 電池込みの本体重量                          |
| 動作電圧       | 9.5V～10.0V                                   |
| 消費電流       | 100mA（最大1200mA）                              |

## 設定ソフトウェア

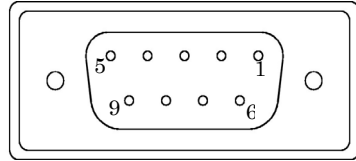
|      |                                                                                                |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 型式   | Checkmate1 設定ソフトウェア                                                                            |
| 動作環境 | Windows 98(SE)、Windows Me、<br>Windows 2000(SP1以降)、WindowsXP 日本語のみ対応<br>メモリ 64M以上 ディスク空き容量 7M以上 |

## インターフェース仕様

コネクタの形状は、9ピン仕様の EIA-574 です。

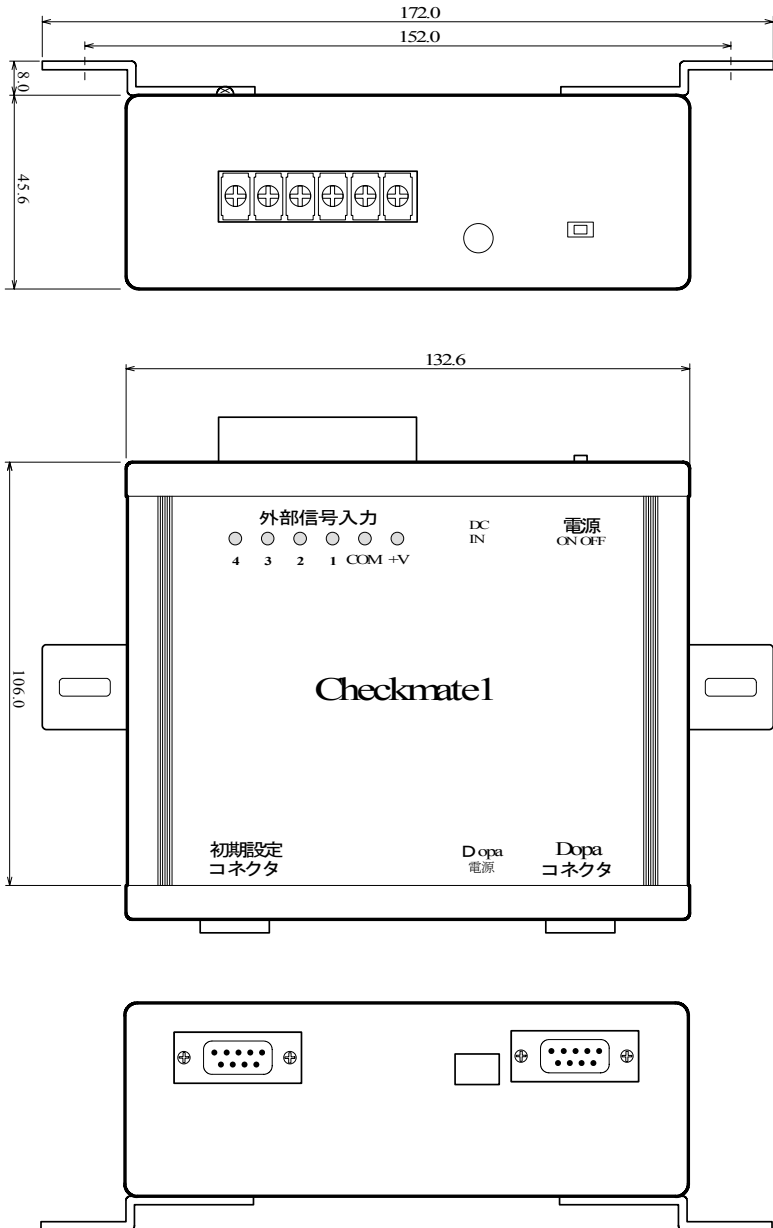
| ピン記号 | 信号  |
|------|-----|
| 1    | CD  |
| 2    | RD  |
| 3    | TD  |
| 4    | DTR |
| 5    | GND |
| 6    | DSR |
| 7    | RTS |
| 8    | CTS |
| 9    | RI  |

ピン番号は製品本体側を示す



設定に使用するパソコンが、このコネクタを装備していない機種の場合（PC-9800シリーズ等）は、別途変換コネクタ（D-SUB25 ピン → D-SUB9 ピン）をお買い求め下さい。

# 外形図



# 更新履歴

Ver1.22 2006/ 3/10

- ・ Q&A 追加

Ver1.21 2006/ 2/04

- ・ ホームページアドレスを追加。

Ver1.20 2005/10/07

- ・ UM-ADP-D 対応版に修正。

Ver1.17 2005/03/31

- ・ 住所を変更。

Ver1.16 2004/10/13

- ・ 設定例のメールアドレスを変更。

Ver1.15 2004/10/01

- ・ Q&A を追加。
- ・ オプション電源をセンサー用電源に変更。

Ver1.13 2004/3/22

- ・ 仕様に動作電圧と消費電流を追加。

Ver1.12 2004/1/7

- ・ 「モペラの契約が必要」に変更。

Ver1.11 2003/10/23

- ・ 停電保証についてを更新。
- ・ 「制御盤などに設置する場合」を追加。

Ver1.1 2003/9/18

- ・ モペラの設定項目の追加。
- ・ リダイヤルについてを追加。

Ver1.07 2003/7/25

- ・ 動作確認を更新。
- ・ 設定ソフト v1.2 への対応。

Ver1.06 2003/1/22

- ・ 停電保障充電地と名称を変更。

Ver1.05 2003/1/15

- ・ 動作確認を修正。

Ver1.04 2003/1/6

- ・ ACアダプターの寸法を追加。
- ・ 定期通報の機能を追加。

Ver1.03 2002/11/5

- ・ 設定ソフトの画像を修正。

Ver1.02 2002/10/15

- ・ チャタリング時間が700 ミリ秒となっていたのを修正。

Ver1.01 2002/10/12

- ・ 本体から設定を読み込む操作を追加。
- ・ チャタリング時間の設定を追加。
- ・ 接続図と外観図を作成した。

Ver1.0 2002/9/19

- ・ 作成。

# Checkmate1

本書 Ver 1.22

## 取扱説明書

改訂            2006年    2月

発行元

株式会社 アドコン

<http://www.adocon.co.jp/>

又は<http://www.adocon.jp/>

TEL (0852) 54-2036    FAX (0852) 54-2196

〒690-2101 島根県松江市八雲町日吉 3-24